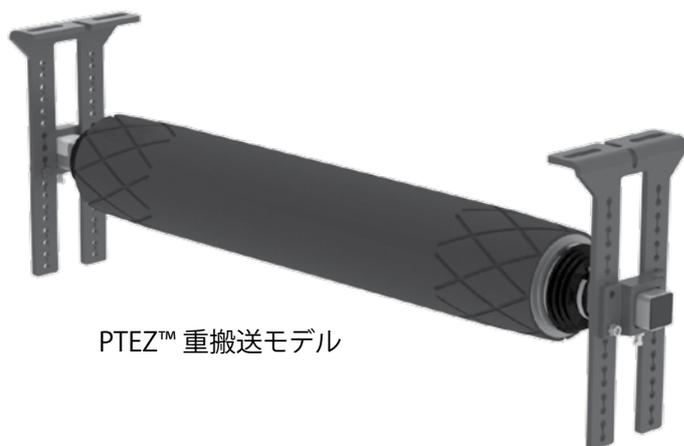


PTEZ™ ベルトトレーナー

取付け方法・操作方法・
メンテナンスマニュアル



PTEZ™ 標準モデル



PTEZ™ 重搬送モデル

製造番号: _____

購入日: _____

購入書類: _____

設置日: _____

シリアル番号情報は、製品のシリアル番号ラベルに記載されています。

こちらをご記入いただきますと、今後のPTEZ™の詳細確認、部品発注やトラブル発生時
のお問い合わせの際にお役に立ちます。

目次

セクション 1 – 重要な情報.....	4
1.1 はじめに.....	4
1.2 ご利用上の利点.....	4
1.3 最適なベルトトレーナーの選択.....	5
セクション 2 – 安全上の注意と予防措置.....	6
2.1 コンベヤ停止時.....	6
2.2 コンベヤ稼働時.....	6
セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション.....	7
3.1 確認項目.....	7
3.2 取付け用オプションパーツ.....	8
セクション 4 – 取付け方法.....	9
4.1 PTEZ™.....	9
4.2 PTEZ™ 重搬送モデル.....	12
4.3 PTEZ™ 重搬送地下炭鉱モデル.....	15
セクション 5 – 稼働前の確認事項およびテスト.....	16
5.1 稼働前の確認項目.....	16
5.2 コンベヤの試運転.....	16
セクション 6 – メンテナンス.....	17
6.1 初回設置時の検査.....	17
6.2 目視での定期検査.....	17
6.3 分解を伴う定期検査.....	17
6.4 ブレード交換の検査.....	18
6.5 メンテナンスの記録.....	19
6.6 メンテナンスのチェックリスト.....	20
セクション 7 – トラブルが起きた場合.....	21
セクション 8 – 仕様およびCAD図面.....	22
8.1 CAD図面 – PTEZ™.....	22
8.2 CAD図面 – PTEZ™ 重搬送モデル.....	23
8.3 CAD図面 – HD PTEZ™ 重搬送地下炭鉱モデル.....	24
セクション 9 – 交換部品.....	25
9.1 交換部品リスト – PTEZ™.....	25
9.2 交換部品リスト – PTEZ™ 重搬送モデル.....	26
セクション 10 – その他の Flexco コンベヤ用製品.....	27

セクション 1 – 重要な情報

1.1 はじめに

お使いのコンベヤシステムにFlexcoのPTEZ™ ベルトトレーナーをお選びいただきありがとうございます。

本マニュアルでは本製品の操作方法をお読みなり、長期の製品の運用年数でご使用いただき、最大の効果を発揮させるためにお役立てください。

安全かつ効率的に製品を使用するには、こちらに記載している情報とガイドラインをよくご理解していただき、ただいた上で作業を行なってください。本マニュアルでは、安全上の注意事項、取付け手順、メンテナンス手順、トラブル発生時のヒントを記載されています。

本マニュアルに記載されていない問題やご質問がありましたら、当社のホームページをご覧ください。またはカスタマーサービスにお問い合わせください。

Flexcoの所在地および製品については、www.flexco.com をご参照ください。

本マニュアルをお読みいただき、システムの取付け、操作およびメンテナンスを直接担当される方にお渡しください。取り付けや保守作業は簡単に行えるように設計しておりますが、**最大限の性能を維持するためには正しい取付けと定期的な検査・調整が必要です。**

1.2 ご利用上の利点

ベルト蛇行の問題は一般的で、ベルトやコンベヤの損傷、搬送物のこぼれ、安全上の懸念といった様々なトラブルを引き起こします。PTEZ™をご利用いただくことで、蛇行が発生しているベルトを修正することが可能です。蛇行が起きているベルトの長さによっては、複数のユニットが必要となる場合があります。

セクション1 – 重要な情報

1.3 最適なベルトトレーナーの選択

製品ラインナップ	適用範囲
Belt Positioner™ (ベルトポジショナー)	リターン側用、S, M, Lサイズの最大張力 140 n/mm、XLサイズの最大張力 210 n/mm、逆転ベルトにも使用可能
PTEZ™	最大張力 280 n/mmまでの中重量搬送 逆転ベルトにも使用可能
PTEZ™ 重搬送モデル	最大張力 420 n/mmまでの中重量搬送 ベルト幅 +225 mm アイドラー ベルト厚さ最大 25 mm 逆転ベルトにも使用可能
PT Smart™	最大張力 280 n/mmまでの中重量搬送 ベルト幅 +75mm アイドラー ベルト厚さ最大 25 mm
PT Smart™ 地下炭鉱モデル	最大張力 280 n/mmまでの中重量搬送 ベルト幅 +225mm アイドラー ベルト厚さ最大 25 mm 地下に対応
PT Max™ 調整可能タイプ	最大張力 525n/mmまでの重搬送 (一般的なベルト厚さ 19mm以上) ベルト幅 900-1500 mm
PT Max™ 重搬送モデル調整可能タイプ	最大張力 1050n/mmまでの重搬送 ベルト幅 1350-2100 mm

Belt Positioner™



PTEZ™



PT Smart™
標準モデル



PT Smart™
地下炭鉱モデル



PT Max™
調整可能タイプ
キャリア側



PT Max™
調整可能タイプ
リターン側



PT Max™
調整可能タイプ
Vリターン



コンベヤ基準	Belt Positioner™	PTEZ™	PT Smart™	PT Max™	PT Max™ 重搬送モデル	PT Max™ 超重量モデル
キャリア側蛇行	対応不可	対応不可	対応不可	対応可能	対応可能	対応可能
リターン側蛇行	対応可能	対応可能	対応可能	対応可能	対応可能	対応可能
ベルト逆回転	対応可能	対応可能	対応不可	対応不可	対応不可	対応不可
片方向への蛇行	良好	良好	良好	良好	良好	良好
両側への蛇行	許容範囲	良好	最良	最良	最良	最良
不安定な蛇行不良問題	普通	良好	最良	最良	最良	最良
ベルトのたるみ (重い)	最良 †	良好 †	良好	良好	良好	良好
ベルト縁の損傷	最良	最良	普通	普通	普通	普通
取付けやすさ	最良	良好	普通	普通	普通	普通
ベルトの走行張力が低い	普通	普通	普通	普通	該当なし	該当なし
ベルトの走行張力が中程度	良好	良好	良好	最良	最良	最良
ベルトの走行張力が高い	該当なし	該当なし	該当なし	良好	最良	最良
ヘッドプーリー側の効果範囲Δ	15 M (50')	6 M (20')	6 M (20')	15 M (50')	15 M (50')	15 M (50')
テールプーリー側の効果範囲Δ	15 M (50')	30-36 M (100-120')	36-45 M (120-150')	45-61 M (150-200')	45-61 M (150-200')	45-61 M (150-200')

† リターン側のきれいなベルトに設置

* 一般的な結果であり、実際の結果が異なる場合があります。

Δ 一部の特殊プーリーではこれらの数値が変わる可能性があります。

セクション 2 – 安全上の注意と予防措置

PTEZ™ ベルトトレーナーを取付け、稼働前に以下の安全情報を確認、ご理解いただくことが必要です。

停止中のコンベヤと稼働中のコンベヤのそれぞれに、取付け、メンテナンスおよび操作の異なった作業と安全手順があります。

2.1 コンベヤ停止時

コンベヤ作動中は以下の作業を定期的に必ず行なってください。

- 取付け
- クリーニング
- アイドラ交換
- 修理

⚠ 危険

上記の作業を行う前に、OSHA/MSHA ロックアウト/タグアウト (LOTO) 規則 (9 CFR 1910.147) に従うことが不可欠です。LOTOに従わない場合、コンベヤベルトの移動に起因するインパクトベッドの制御不能により、重傷または死亡に至る可能性があります。

稼働前:

- コンベヤの電源をロックアウト/タグアウトする
- テークアップ(ベルトのテンション)を解除する

⚠ 警告

以下の個人用保護具(PPE)を使用してください

- 保護メガネ
- ヘルメット
- 作業靴

近接した場所や重い部品は、作業員の目や足、頭を危険に晒す環境です。

コンベヤベルトで生じうる危険を管理するために、必ずPPE個人用保護具を着用してください。

2.2 コンベヤ稼働時

コンベヤ作動中は以下の作業を定期的に必ず行なってください

- クリーニング性能の検査
- 問題等がないかの動作確認

⚠ 危険

ベルトコンベヤが稼働している際に、指や手が挟まれる可能性があります。作動中のベルトトレーナーには絶対に触れないでください。コンベヤの安全性に問題がある場合、瞬時に手足が切断される可能性があります

⚠ 警告

コンベヤには走行中の危険があります。トレーナーからできるだけ離れ、保護メガネとヘルメットを着用してください。

⚠ 警告

稼働中のベルトトレーナーでは、絶対にいかなる調整を行わないでください。外れた金具により、重傷または死亡する可能性があります。

セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション

3.1 確認項目

- ベルトトレーナーのモデルとサイズを確認します。ご希望のベルトラインに対応したものですか？
- PTEZ™の全ての部品が同梱されていることを確認してください。
 - トレーナー
 - 取付け金具
 - 導入キット
- 同梱の説明書のパックを確認します。
- 説明書にある「必要な工具」のリストを確認し、揃えてください。
- コンベヤでの設置場所を確認してください。
 - 蛇行の発生箇所を特定し、下流(テールプーリ)側 30～37mに影響が及ぶことを想定します。
 - 本機は、蛇行の発生地点から 6.1m後に設置してください。
 - 設置時にローラーとの干渉を避けるため、可能であれば、標準モデルは少なくとも 225 mm、重搬送モデルは 265 mmの開口部を確保してください。
 - 古い蛇行修正システムを取り除いてください。
 - コンベヤに特殊アイドラ(例:ディスクアイドラ)がある場合は、トレーナーを取付ける位置の前後のアイドラを標準のアイドラに交換してください。
 - コンベヤにVリターンアイドラがある場合は、トレーナを設置する場所の前後にあるアイドラを標準のフラットアイドラに交換してください。

セクション 3 – 取付け前の点検およびオプション

3.2 取付け用オプションパーツ

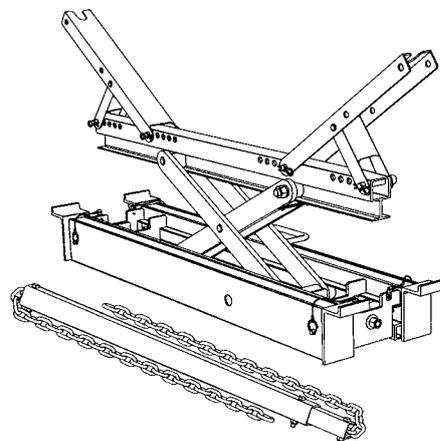
オプションの工具を使用することで、DRX™インパクトベッドの取付けをより簡単に迅速に行うことができます。

Flex-Lifter™ コンベヤベルトリフター

製品	注文番号	品目コード
Medium Flex-Lifter 900–1500 mm (36–60")	FL-M	76469
Large Flex-Lifter 1200–1800 mm (48–72")	FL-L	76470
XL Flex-Lifter 1800–2400 mm (72–96")	FL-XL	76983

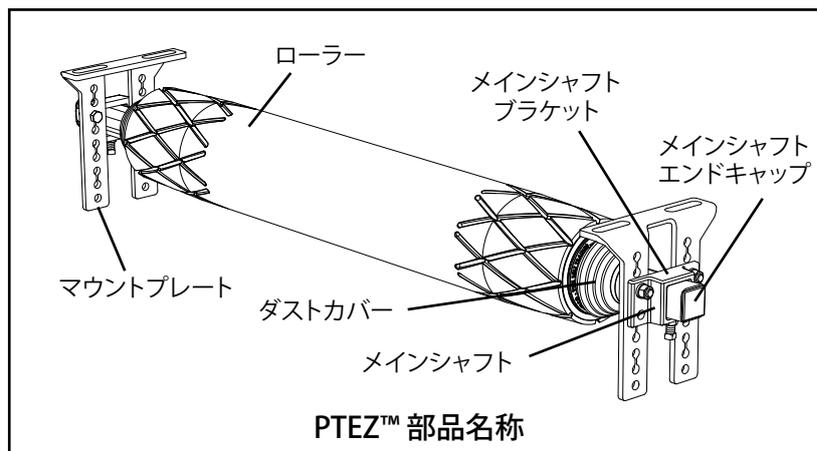
Flex-Lifter™ コンベヤベルトリフター

Flexco フレックスリフターを使用すると、コンベヤベルトを簡単かつ安全に持ち上げることができます。二台のフレックスリフターを使用することで、ベルトを素早く持ち上げてインパクトベッドを設置することができます。フレックスリフターは、ミディアムとラージでは1800 kg、XLでは2725 kgに対応。利用可能な製品の中で最も高い安全性を持っています。そして様々な用途でご使用いただけます。エンドレス加工、ローラー交換、その他のメンテナンス作業のために、キャリア側、ベルトやリターン側のベルトを持ち上げる際もご使用できます。3つのサイズをご用意しております。ベルト幅 900 - 1500mm用のミディアム、ベルト幅 1200 - 1800mm用のラージ、ベルト幅 1800 - 2400mm用のXLです。



セクション 4 – 取付け方法

4.1 PTEZ™



ベルトトレーナーの取り付けを開始する前に、コンベヤの電源を物理的にロックアウトし、タグを付けてください。

注意: 構成部品は重い場合があります。安全認可を受けた吊り具を使用してください。

必要な工具

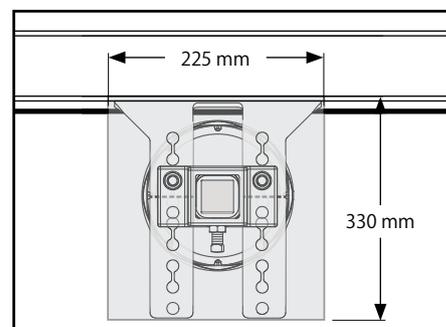
- 巻き尺
- (2) 19 mm レンチ
- 中型または大型の調整可能レンチ
- 切断用のトーチまたは溶接機
- (2) レバーホイスト (最小750kg)
- 重い部品の移動や持ち上げに必要な器具
- 定規または水準器
- マーキングペン

取付け前に

- PTEZ™ には工場出荷時に製造番号 (シリアルナンバー) ラベルが貼られています。このラベルは、保護のため、メインシャフトの一端にある蛇腹 / ダストカバーの下にあります。今後のお問い合わせにこの番号をご利用ください。
- 安全な設置のために必要な吊り具 (クレーン、レバーホイストなど) を使用してください。
- トレーナーはテールプリー、テークアッププリー、ヘッドプリーから 6m 以内に設置しないでください。
- 切断トーチをご使用の際、すべての安全注意事項に従ってください。

コンベヤおよび現場での準備

- 蛇行の発生箇所を特定し、下流 (テールプリー) 側 30~37m に影響が及ぶことを想定します。
- 本機は、蛇行の発生地点から 6.1m 後に設置してください。
- 少なくとも 225mm 以上の開口部を確保します。
- 複数の異なる蛇行修正システムがあると、PTEZ の意図したトラッキングが低下する可能性があるため、PTEZ の蛇行修正距離内にある既存の蛇行修正システムはすべて取り外してください。



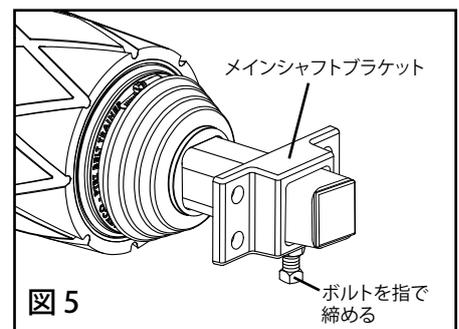
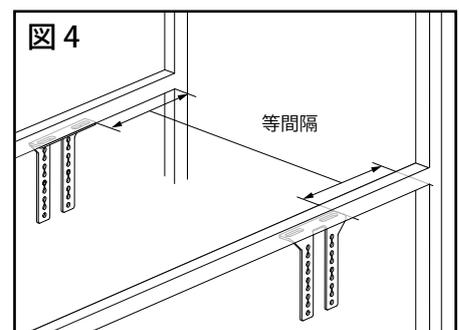
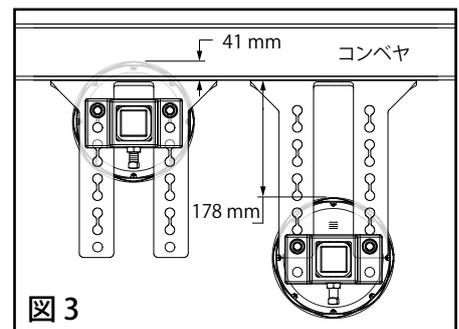
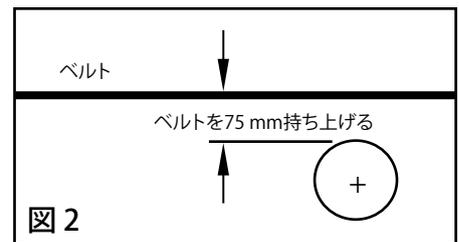
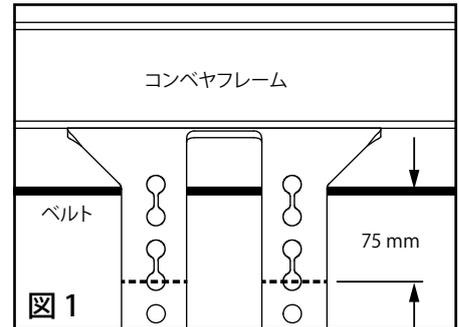
セクション 4 – 取付け方法

4.1 PTEZ™

PTEZの準備と取付け

1. PTEZ™ の設置場所を確認し、ブラケットを1つ取り付けます。
 - a. プッシュアップ (押し上げ) 取付けの場合、直定規を使用してベルトを押し上げ、たるみを取り、ブラケットにベルト下部の印を付けます。そのマークから 75 mm 下を測り、2つ目の印を付けます。(図1) 2つ目の印は、ステップ6でポールの中心を合わせる場所です。
 - b. プッシュダウン (押し下げ) またはベルトがきれいな裏側の取付けの場合、直定規を使用してベルトを押し下げ、たるみを取り除き、ブラケットにベルト上部の印を付けます。そのマークから 75mm 上まで測り、2つ目のマークを付けます。2つ目の印は、ステップ6でポールの中心を合わせる場所です。
2. トレーナーを持ち上げます。ベルトを約75 mm持ち上げ、既存のアイドルを取り外します。(ある場合のみ) (図2)

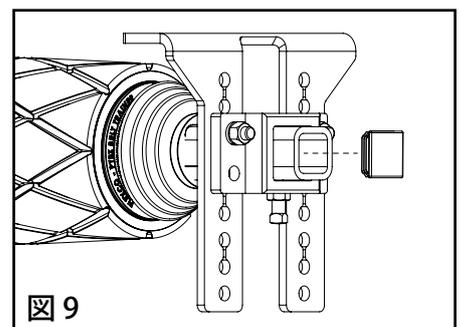
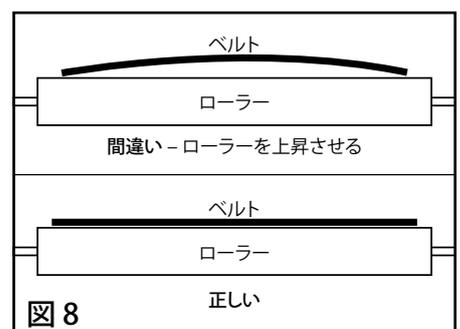
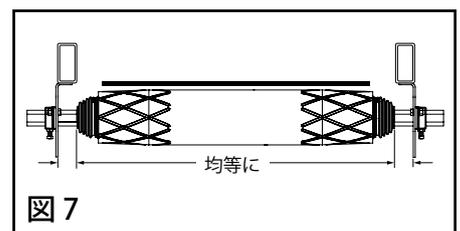
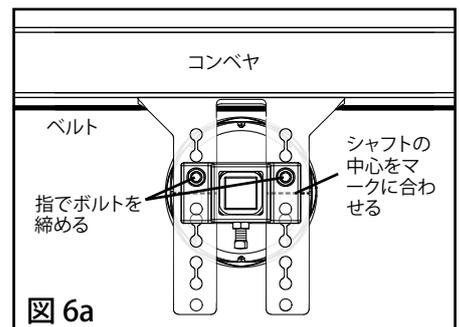
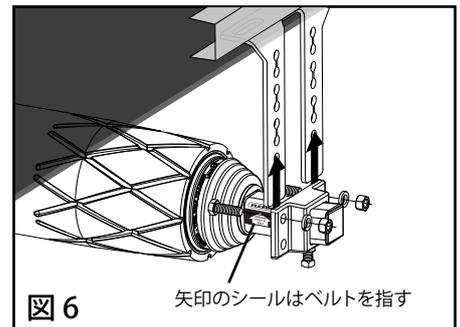
注: 特殊アイドル (ディスクアイドルなど) があるコンベヤの場合、トレーナーを取り付ける位置の前後で、アイドルを標準のものに交換してください。
3. ブラケットを取り付けます。既存のアイドルの穴パターンに取り付けることができます。ブラケットの全体的な調整範囲は、上部フランジの上 41 mm または上部フランジの下 178 mm です。(図3).
4. マウントブラケットを直角に調整します。両側の固定位置から測定し、正しく位置合わせされていることを確認してください。(図4).
5. 5. メインシャフトブラケットをスライドさせて取付けます。後で微調整できるように、ボルトは仮締めにしておきます。(図5).



セクション 4 – 取付け方法

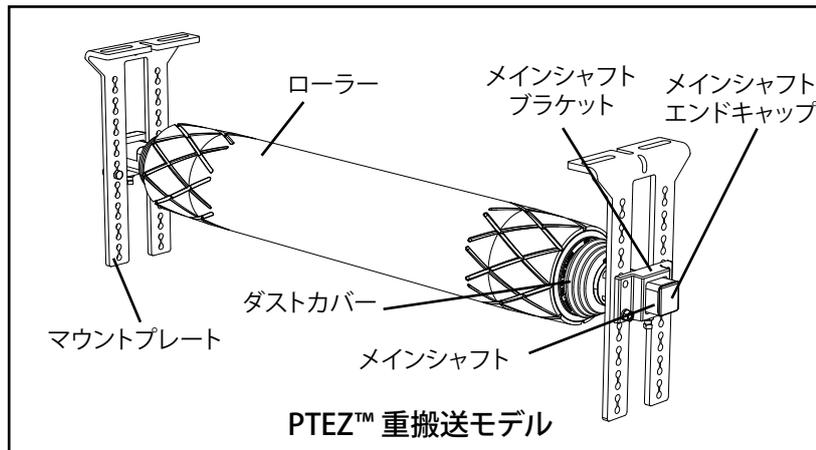
4.1 PTEZ™

6. ローラーとメインシャフトブラケットを持ち上げます。PTEZ™ を所定の位置まで持ち上げるには、必ず安全な手順で吊り具を使用してください。メインシャフトのラベルの矢印が、ベルトに向かって上または下を向いていることを確認します。(図6) シャフトの中心とマウントブラケットのマーク(ステップ 1)を合わせ、マウントブラケットとメインシャフトブラケット間のボルトを指で締めます。(図 6a)
7. メインシャフトがメインシャフトブラケット(ローラーの両側で同じ長さを示す)の中央にあることを確認します。(図 7)
8. ベルトをローラーの上に下ろします。ベルトがローラーに完全に接触していることを確認してください。接触が悪い場合は、ブラケットでの高さを1つ上げてください。(図8) ベルトは通常の走行高さから約 12~25 mm押し上げます。ローラーとベルトの間にまだ隙間がある場合、隙間がなくなるまで 12 mm 単位で調整することができます。
注: まだ隙間がある場合は、プッシュダウンの取り付けを検討してください。
9. すべてのボルトを締め付けます。取付け時または切断のためエンドキャップを取り外した場合は、再度取り付けをし、16ページの稼働前の確認項目に進みます。(図9)



セクション 4 – 取付け方法

4.2 PTEZ™ 重搬送モデル



ベルトトレーナーの取り付けを開始する前に、コンベヤの電源を物理的にロックアウトし、タグを付けてください

注意: 構成部品は重い場合があります。安全認可を受けた吊り具を使用してください。

必要な工具

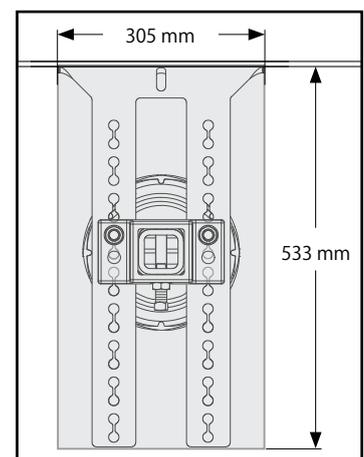
- 巻き尺
- (2) 19 mm レンチ
- 中型または大型の調整可能レンチ
- 切断用のトーチまたは溶接機
- (2) レバーホイスト (最小750kg)
- 重い部品の移動や持ち上げに必要な器具
- 定規または水準器
- マーキングペン

取付け前に

- PTEZ™ 重搬送モデルには工場出荷時に製造番号 (シリアルナンバー) ラベルが貼られています。このラベルは、保護のため、メインシャフトの一端にある蛇腹 / ダストカバーの下にあります。今後のお問い合わせにこの番号をご利用ください。
- 安全な設置のために必要な吊り具 (クレーン、レバーホイストなど) を使用してください。
- トレーナーはテールプリー、テークアッププリー、ヘッドプリーから 6m 以内に設置しないでください。
- 切断トーチをご使用の際、すべての安全注意事項に従ってください。

コンベヤおよび現場の準備:

- 蛇行の発生箇所を特定し、下流 (テールプリー) 側 30~37m に影響が及ぶことを想定します。
- 本機は、蛇行の発生地点から 6m 後に設置してください。
- 少なくとも 305mm 以上の開口部を確保します。
- 複数の異なる蛇行修正システムがあると、PTEZ の意図したトラッキングが低下する可能性があるため、PTEZ の蛇行修正距離内にある既存の蛇行修正システムはすべて取り外してください。



セクション 4 – 取付け方法

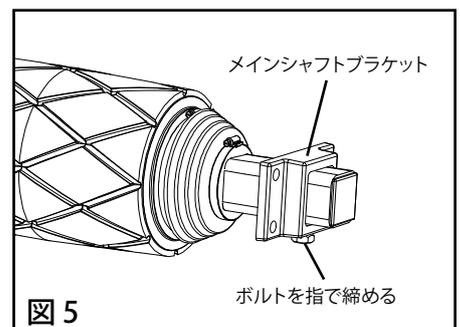
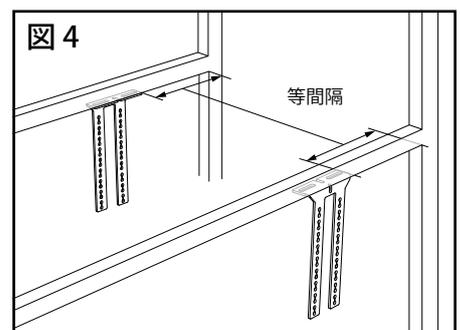
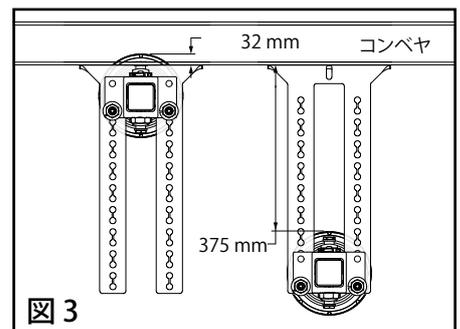
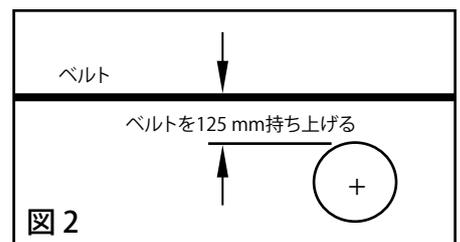
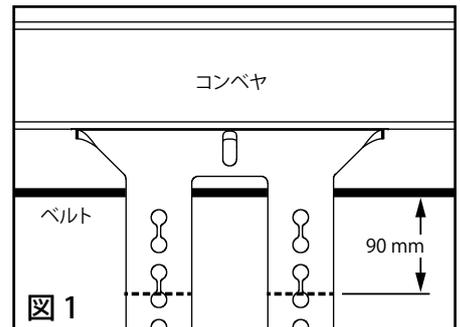
4.2 PTEZ™ 重搬送モデル

PTEZ™ 重搬送モデルの準備と取付け

地下炭鉱 J-ボルトまたはワイヤーロープによる取り付けについては、15ページを参照してください。

1. PTEZ™ 重搬送モデルの設置場所を確認し、ブラケットを1つ取り付けます。
 - a. プッシュアップ(押し上げ)取付けの場合、直定規を使用してベルトを押し上げ、たるみを取り、ブラケットにベルト下部の印を付けます。そのマークから 90 mm 下を測り、2つ目の印を付けます。(図1) 2つ目の印は、ステップ6でポールの中心を合わせる場所です。
 - b. プッシュダウン(押し下げ)またはベルトがきれいな裏側の取り付けの場合、ローラーの重さを利用して、ベルトを押し当て、たるみを取り除きます。ブラケットをコンベヤに取り付け、取付け穴の位置を確認します。本機をさらに 50mm押し下げ、ボルトで固定します。光が通るような隙間がないことを確認します。
2. トレーナーを持ち上げます。ベルトを約125 mm持ち上げ、既存のアイドラを取り外します。(ある場合のみ) (図2)

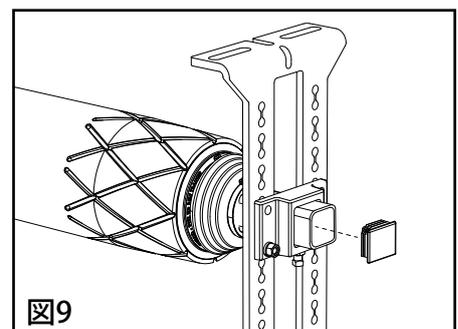
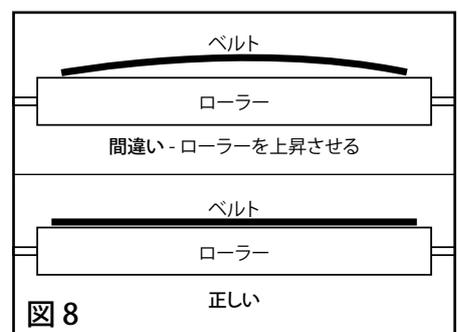
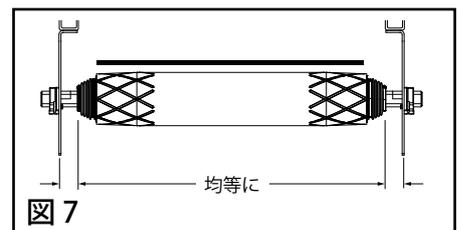
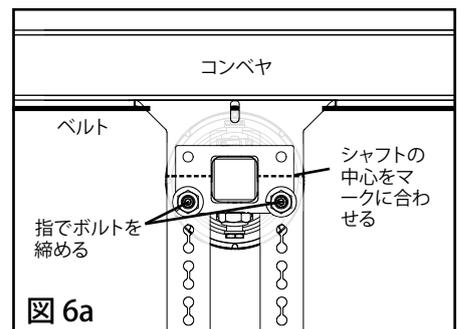
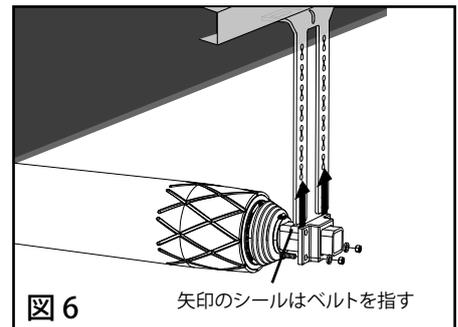
注: 特殊アイドラ(ディスクアイドラなど)があるコンベヤの場合、トレーナーを取り付ける位置の前後で、アイドラを標準のものに交換してください。
3. ブラケットを取り付けます。既存のアイドラの穴パターンに取り付けることができます。ブラケットの全体的な調整範囲は、上部フランジの上 32 mmまたは上部フランジの下 375 mmです。(図3)
4. マウントブラケットを直角に調整します。両側の固定位置から測定し、正しく位置合わせされていることを確認してください。(図4)
5. メインシャフトブラケットをスライドさせて取付けます。後で微調整できるように、ボルトは仮締めにしておきます。(図5)



セクション 4 – 取付け方法

4.2 PTEZ™ 重搬送モデル

6. ローラーとメインシャフトブラケットを持ち上げます。PTEZ™ 重搬送モデルを所定の位置まで持ち上げるには、必ず安全な手順で吊り具を使用してください。メインシャフトのラベルの矢印が、ベルトに向かって上または下を向いていることを確認します。(図6) シャフトの中心とマウントブラケットのマーク(ステップ 1)を合わせ、マウントブラケットとメインシャフトブラケット間のボルトを指で締めます。(図 6a)
7. メインシャフトがメインシャフトブラケット(ローラーの両側で同じ長さを示す)の中央にあることを確認します。(図 7)
8. ベルトをローラーの上に下ろします。ベルトがローラーに完全に接触していることを確認してください。接触が悪い場合は、ブラケットでの高さを1つ上げてください。(図8) ベルトは通常の走行高さから約 12~25 mm押し上げます。ローラーとベルトの間にまだ隙間がある場合、隙間がなくなるまで 12 mm 単位で調整することができます。
注: まだ隙間がある場合は、プッシュダウンの取り付けを検討してください。
9. すべてのボルトを締め付けます。取付け時または切断のためエンドキャップを取り外した場合は、再度取り付けをし、16ページの稼働前の確認項目に進みます。(図9)



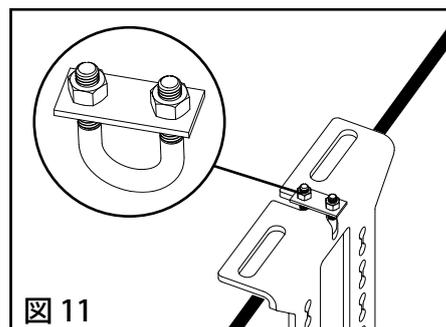
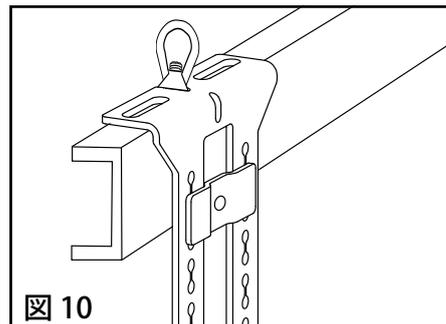
セクション 4 – 取付け方法

4.3 PTEZ™ 重搬送地下炭鉱モデル

地下での取付け手順

以下の部品は、PTEZHD-UG アイテムに含まれています。

10. 100mmまたは125mmのチャンネル構造（溝形鋼）に取り付ける場合は、付属のJ-ボルトプレートを使用し、J-ボルト（別途ご用意ください）で固定してください。（図10）
11. ワイヤロープ構造に取り付ける場合は、付属のUボルトキットを使用し、（図11）のように配置してください。



セクション 5 – 稼働前の確認事項およびテスト

5.1 稼働前の確認項目

- すべてのボルト、留め具が締まっていることを再確認します。
- 付属のラベルをすべてクリーナーに貼る。
- ベルトとコンベヤ周辺からすべての取付け資材と工具が取り除かれていることを確認してください。
- メインチューブの矢印がベルトに対して上向きまたは下向きになっていることを再確認してください。

5.2 コンベヤの試運転

- コンベヤを最低15分間作動させ、ベルトが正しく走行していることを確認してください。
- ベルトが一方に大きく蛇行する場合、高さを12mm刻みで調整し、隙間がなくなるまで調整してください。

注: PTEZ へのベルトの巻き付き角度は 10° を超えないようにしてください。

注: コンベヤにディスクアイドラがある場合、テールプーリ側の下流のベルトが十分な蛇行修正を得られない可能性があります。

セクション 6 – メンテナンス

Flexcoのベルトトレーナーは最小限のメンテナンスで作動するように設計されています。しかし、優れた性能を持するためには一定の整備が必要です。トレーナーを設置する際に、定期的なメンテナンスプログラムを設定する必要があります。このプログラムにより、クリーナーが最適な効率で作動し、ベルト、トレーナー、他のコンベヤ構成部品に損傷を与える前に問題を特定して修正することができます。

装置(停止中または作動中)の点検に関するすべての安全手順を遵守する必要があります。PTEZ™は回転するベルトに直接接触します。ベルト走行中は目視による点検のみ可能です。保守作業はコンベヤを停止させ、正しいロックアウト/タグアウト手順に従った場合にのみ行うことができます。

6.1 初回設置時の検査

PTEZ を 15 分間作動させ、トレーナーが適切に機能しているかを点検してください。必要に応じて調整してください。

6.2 目視での定期検査(2～4週間おき)

PTEZ の目視検査で判断できること

- ベルトが適切に走行できているか。
- レーナーが正常に動いているか。
- トレーナーに搬送物固着がなく、正しく回転しているか。
- シャフトやその他の部品に損傷がないか。

上記のいずれかに該当する場合、コンベヤを停止してメンテナンスを行うかを判断する必要があります。

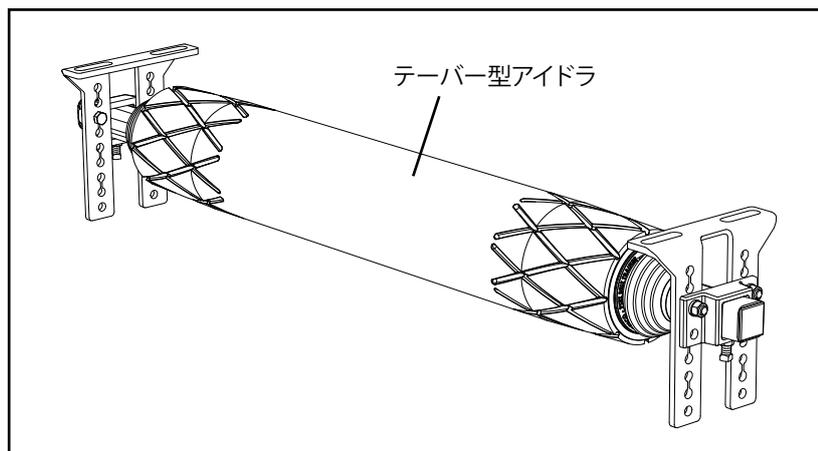
6.3 目視での定期検査(6～8週間おき)

コンベヤが稼働しておらず、適切に施錠され、タグをつけた後、トレーナーの物理的な点検を行い、以下の作業を行います。

- トレーナーと構成部品から付着物を取り除く。
- ユニットがスムーズに十分な動きを確保できるように回転させて調整します。
- ユニット全体に損傷がないかの精密な点検をします。
- すべてのボルトに緩みと摩耗がないかを点検します。必要に応じて締めるまたは交換します。
- メンテナンス作業が完了したら、コンベヤを試運転し、トレーナーが正常に動作していることを確認します。

セクション 6 – メンテナンス

6.4 ローラーの交換方法



ローラーの取付けを開始する前に、
コンベヤの電源を切り、タグをつけてください。

注意: 構成部品は重い場合があります。安全認可を受けた吊り具を使用してください。

1. ベルトのテンションを解除します。Flex-Lifter またはその他の適切な吊り具を使用して、ベルトをトレーナーから約 75 mm 持ち上げます。
2. 取付け用のマークをつけます。新しいローラーを取り付ける際の参考として、メインシャフトブラケットの上または下に取り付けブラケットをマークし、交換ローラーが同じ高さに取り付けられるようにします。
3. ローラーを取り外します。
4. 新しいローラーを取り付けます。ローラーがスムーズに回転しているかを確認します。
5. ベルトを下げます。ベルトがローラーに完全に接触していることを確認します。すべてのボルトを締めます。

セクション 6 – メンテナンス

6.5 メンテナンスチェックリスト

コンベヤ名/番号 _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

日付: _____ 作業者名: _____ 参照番号: _____

作業: _____

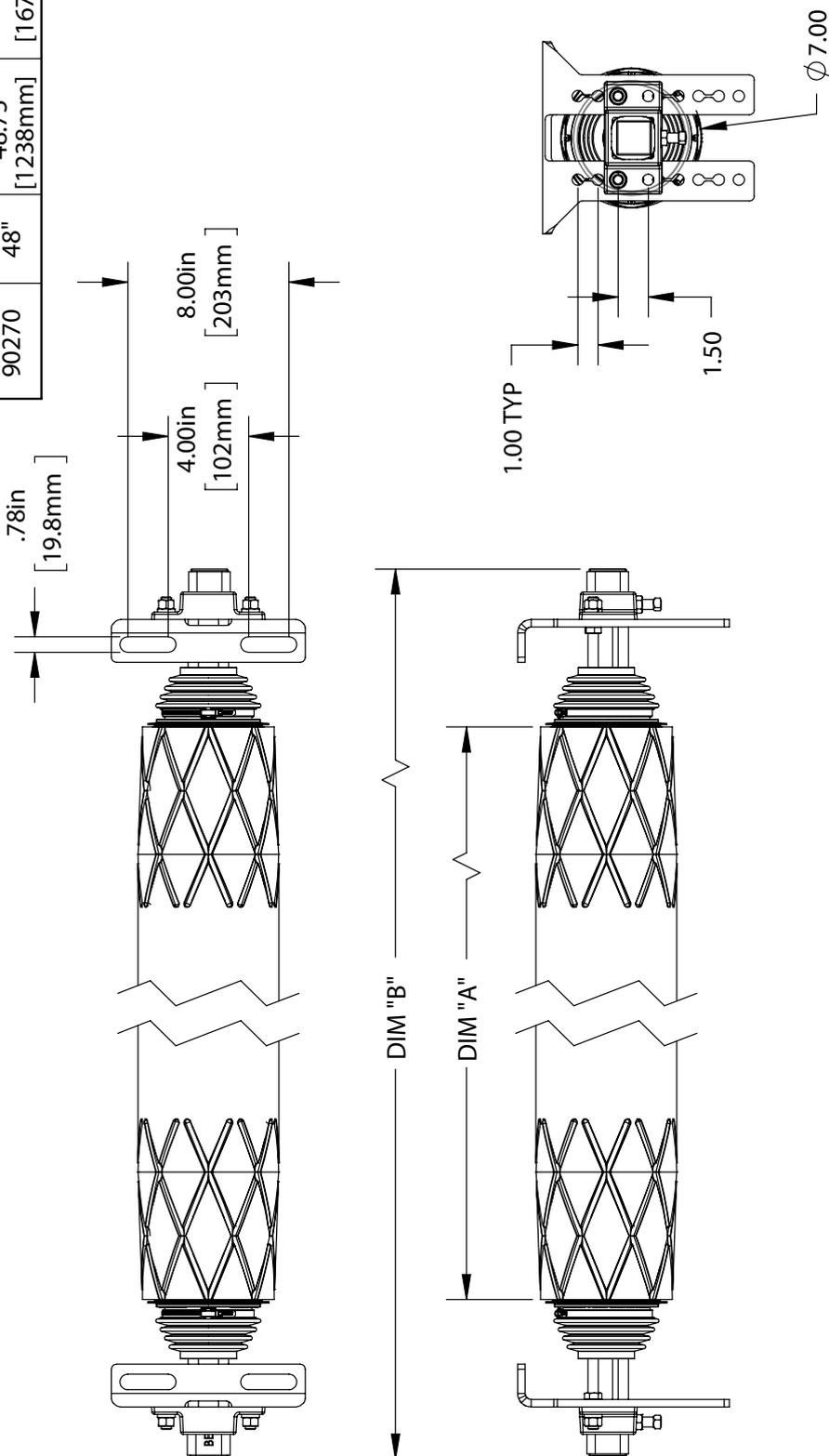
セクション7 – トラブルが起きた場合

トラブル	考えられる原因	解決策
ベルトの問題箇所にほとんど効果がない	ユニットの設置場所が不適切	ベルトの走行トラブルが始まってから 6 m 後にユニットを移動する
	ユニットの張力が不適切	取付説明書のステップ 8 を参照し、PTEZ を微調整する
	ローラー上の堆積物	ユニットを清掃する
	ユニットがヘッドまたはテールプーリ、テークアップに近すぎる	ヘッドまたはテール、テークアッププーリから 6.0 m 離す
逆回転ベルトでは、ベルトが一方高の方がより良く修正される。	ユニットがフレームの中央にない	ユニットの中心を調整する
	ユニットがコンベヤに対して直角ではない	コンベヤに対して直角に再設置する
ローラーが回転しない。	搬送物の堆積	ベルトクリーナーを利用する
ピボット機構が機能しない	メインローラー上の堆積物	ユニットを清掃し、ベルトクリーナーを追加する
	メインローラーのベアリング不良	メインローラーの交換

セクション 8 - CAD 図面

8.1 CAD 図面- PTEZ™

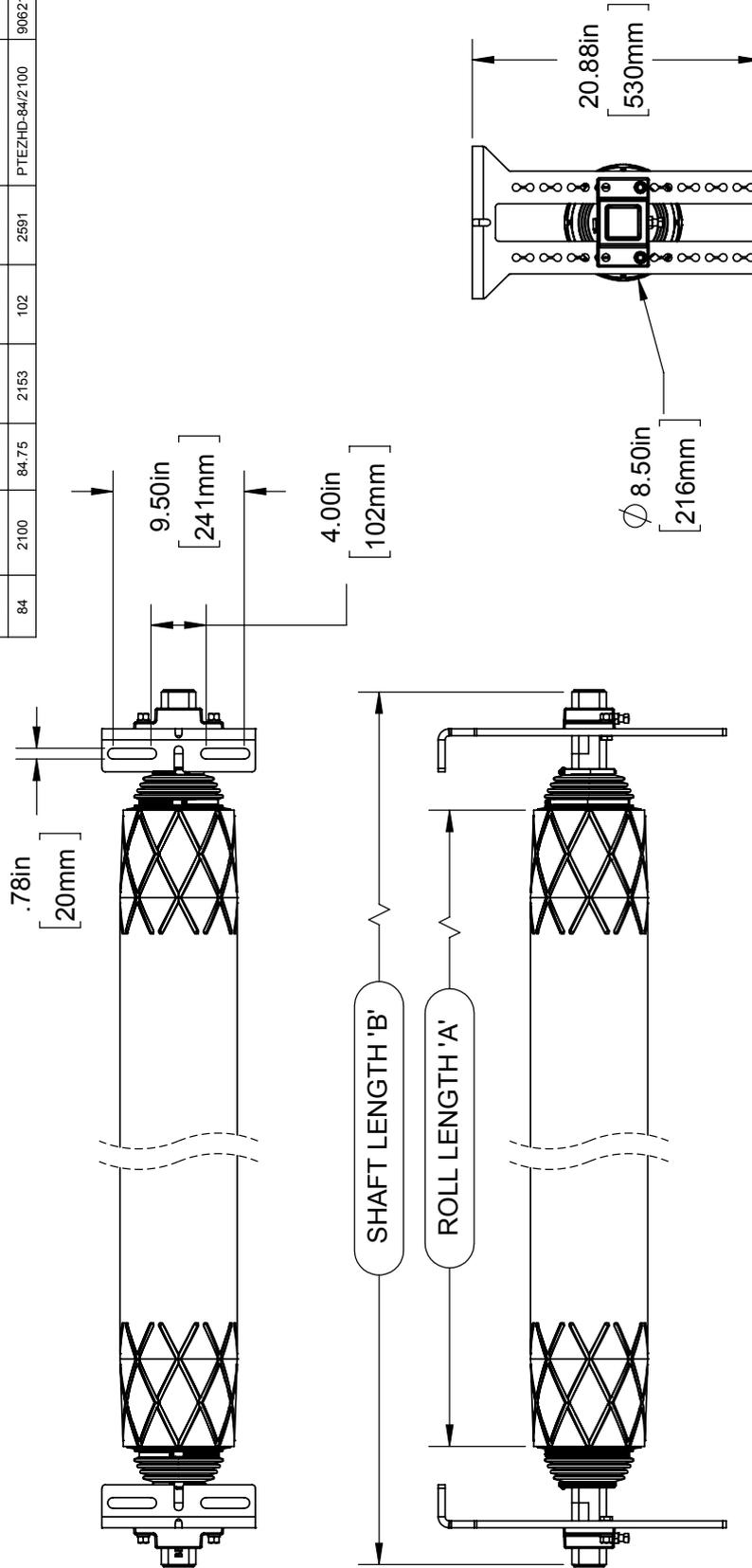
PART NUMBER	BELT WIDTH	DIM "A"	DIM "B"
90265	18"	18.75" [476mm]	36" [914mm]
90266	24"	24.75" [629mm]	42" [1067mm]
90267	30"	30.75" [781mm]	48" [1219mm]
90268	36"	36.75" [933mm]	54" [1372mm]
90269	42"	42.75" [1086mm]	60" [1524mm]
90270	48"	48.75" [1238mm]	66" [1676mm]



セクション 8 - CAD 図面

8.2 CAD 図面 - PTEZ™ 重搬送モデル

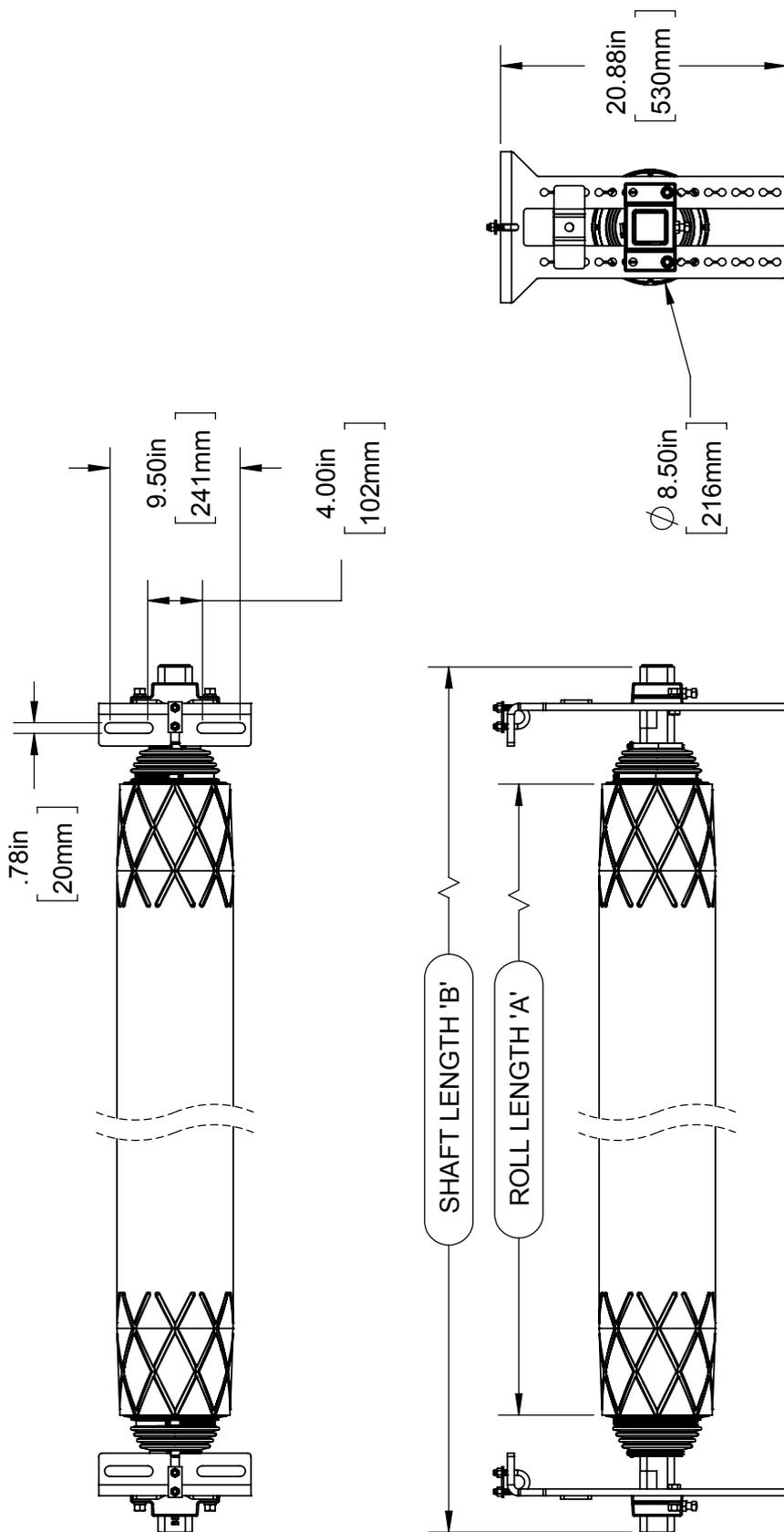
SPECIFICATIONS					
BELT WIDTH (in)	ROLL LENGTH 'A' (in)	SHAFT LENGTH 'B' (in)	ORDERING NUMBER	ITEM CODE	
42	42.75	60	PTEZHD-42/1050	90616	
48	48.75	66	PTEZHD-48/1200	90617	
54	54.75	72	PTEZHD-54/1350	90618	
56	56.75	74	PTEZHD-56/1400	90795	
60	60.75	78	PTEZHD-60/1500	90619	
64	64.75	82	PTEZHD-64/1600	90796	
72	72.75	90	PTEZHD-72/1800	90620	
80	80.75	98	PTEZHD-80/2000	90797	
84	84.75	102	PTEZHD-84/2100	90621	



セクション 8 - CAD 図面

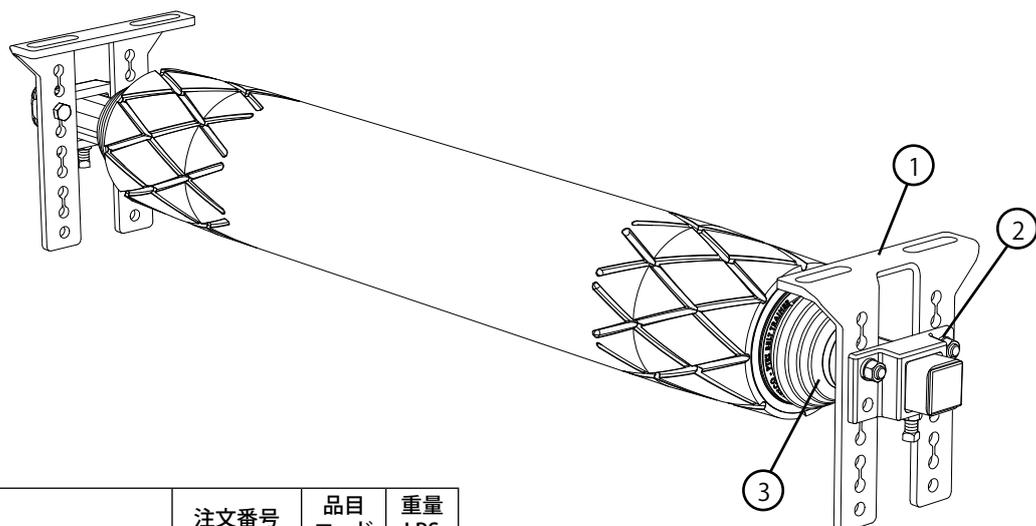
8.3 CAD 図面 - PTEZ™ 重搬送地下炭鉱モデル

SPECIFICATIONS				
BELT WIDTH (in)	ROLL LENGTH 'A' (mm)	SHAFT LENGTH 'B' (mm)	ORDERING NUMBER	ITEM CODE
42	1086	60	PTEZHD-42/1050-LG	90798
48	1238	66	PTEZHD-48/1200-LG	90799
54	1391	72	PTEZHD-54/1350-LG	90800
60	1543	78	PTEZHD-60/1500-LG	90801
72	1848	90	PTEZHD-72/1800-LG	90802



セクション 9 – 交換部品

9.1 交換部品リスト - PTEZ™



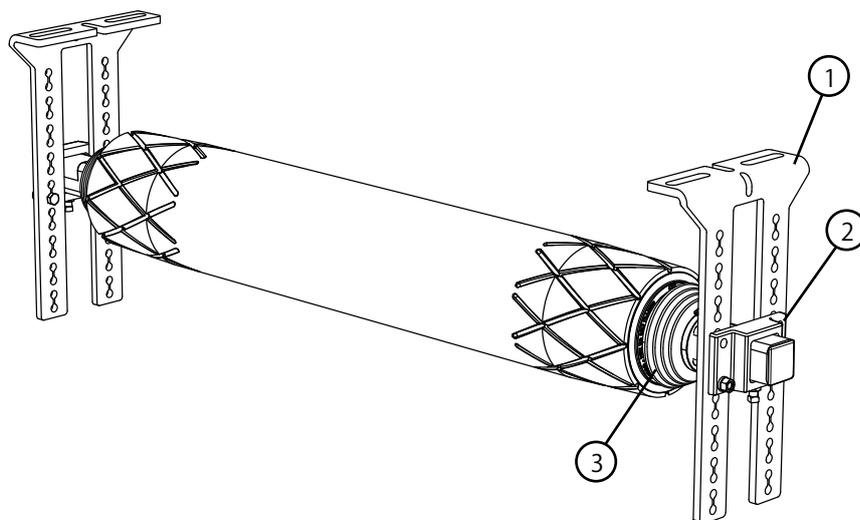
交換部品

参照	部品名	注文番号	品目 コード	重量 LBS.
1	PTEZ マウントブラケット (各2点含)	PTEZMB	90351	3.6
2	PTEZ メインシャフトブラケット (各2点含)	PTEZPB	90352	2.7
3	PTEZ メインシャフトダストカバー (各2点含)	PTEZDC	90353	0.5

リードタイム: 1 営業日

セクション 9 – 交換部品

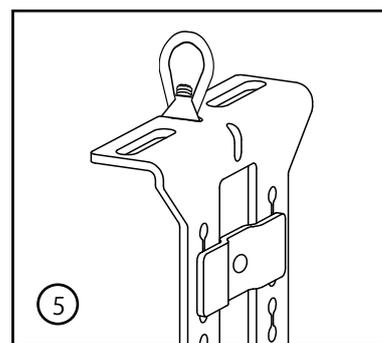
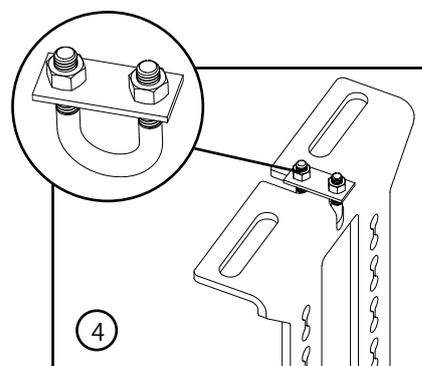
9.2 交換部品リスト - PTEZ™ 重搬送モデル



換部品

参照	部品名	注文部品	品目 コード	重量 KG
1	マウントブラケットキット	PTEZHD-MBK	90803	8.6
2	ポールブラケットキット	PTEZHD-PBK	90804	3.6
3	ダストカバーキット	PTEZHD-DCK	90805	0.5
4	ワイヤーロープボルトキット	PTEZHD-WRBK	90806	0.5
5	J-ボルトブラケットキット	PTEZHD-JBBK	90807	0.9

リードタイム: 1 営業日



セクション 10 – その他のFlexcoコンベヤ用製品

Flexcoは、コンベヤをより効率的かつ安全に稼働させるためのコンベヤ製品を数多く提供しています。これらの製品により、コンベヤのよくある問題を解決し、生産性を向上させることができます。その中からいくつかを簡単にご紹介します。

EZP1 ヘッドクリーナー



- 特許取得のConShear™ブレードは、磨耗に応じて刃先を更新します
- Visual Tension Check™ (ビジュアルテンションチェック)により、最適なブレードの張力調整と簡単な再張力を実現
- 迅速で簡単な留めピンのブレード交換
- 最適なクリーニングとメンテナンス軽減のためのMaterial Path Option™ (マテリアル・パス・オプション)

MMP ヘッドクリーナー



- 過酷な用途に対応する優れたクリーニング
- 250 mm のTuffShear™ブレードにより、ブレードとベルトのテンションが向上
- 3ピース伸縮式ポールは軽量で簡単取付け
- デュアル・クイックマウント・テンショナーにより、ブレードの寿命を通じて最適な張力を確保

MHS サービスアドバンテージ・カートリッジ付きMHSセカンダリークリーナー



- メンテナンスが容易なスライド式カートリッジ
- ブレード交換のメンテナンス時間を短縮するカートリッジデザイン
- 特許取得済みのPowerFlex™クッションにより、優れたクリーニング性能を実現
- Flexcoメカニカルベルトファスナーに対応

Flex-Lok™ スカートクランプ



- 乗継ゾーンの流出を防止
- 連結デザインにより、取り付けが簡単で、一人でメンテナンスが可能
- 独自のくさびピンがゴムを確実に固定し、調整も簡単
- 各種モデル、ステンレス製をご用意

PT Max™ ベルトトレーナー



- 特許取得の「ピボット&ティルト」デザインにより、優れたトレーニングアクションを実現
- 両サイドのデュアルセンサーローラーにより、ベルトの損傷を最小限に抑えます
- 固着や凍結の心配がないピボットポイント
- キャリヤ側とリターン側のベルトに使用可能

ベルトプラウ



- テールプリー用ベルトクリーナー
- 独自のブレード設計により、ベルト上の堆積を素早くスパイラル状に取り除きます
- 経済的でメンテナンスが簡単
- 斜めまたはV字のモデルが利用可能

その他のFlexcoの所在地と製品、または正規代理店については、www.flexco.com をご覧ください。

©2025 Flexible Steel Lacing Company. 06-23-25. W2332

